

令和6年度（2024年度）大分大学グローバル感染症研究センター  
研究集会報告書

採択番号	2024M07	
申請者に関する事項	氏名	衛藤 剛
	所属機関名	大分大学グローバル感染症研究センター
	職名	教授
研究集会名	第24回腹腔鏡下胃切除術研究会	
開催期間	令和6年（2024年）12月4日	
本センター担当教員	衛藤 剛	
令和6年度（2024年度）研究集会の概要		
<p>胃癌に対する低侵襲治療は、現在標準治療のひとつとして位置づけられるようになったが、高度進行癌、高齢者、食道胃接合部癌などに対する低侵襲治療の安全性はまだ十分確立されておらず、また薬物治療を含めた集学的治療による治療成績向上が急務である。このような背景のもと、本研究会は胃癌予後向上を目的とし、年に1回の研究会を開催している。</p> <p>当該研究会のテーマを、「上部胃癌の術式選択」とし、その分野における熟練したエキスパート外科医からの話題提供・特別講演を通じて、若手医師へ向けた教育観点からの認知・理解向上と、更なる知見を深めることができた。さらに本研究会を通じて、薬物治療を含めた集学的治療の中における低侵襲手術のエビデンスを創生していくきっかけになる良い機会となった。低侵襲治療と現在グローバル感染症研究センターで研究を進めている癌ウイルス治療を併用した新しい治療戦略が期待される。</p>		